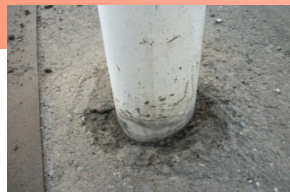


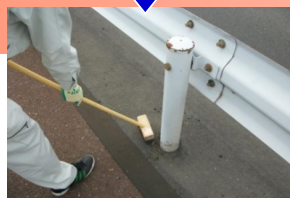
防草ラバーコート 施工手順

施工道具：バケツ、移植ゴテ、コテ、計量カップ、ゴム手袋、ブラシ、チョーク、タオル、ホウキ、鎌など



① 雑草除去

設置の障害にならないよう、雑草を取り除いてください。



② 路面清掃

ブラシで貼りつけ対象となる部分にこびりついた土・埃などを除去します。



③ 支柱清掃

タオルで支柱の汚れをふき取ります。



④ マーキング

チョークを用いて製品設置範囲に印を付けます。



⑤ 材料攪拌

ラバーチップと接着剤GU2-4Lを、均一になるまで攪拌します。※1

ラバーチップの粒度が細かいため、袋から取り出す際に袋内の粉塵を吸引する可能性があります。袋から取り出す際は、必ずマスクの着用をお願いします。

※1 支柱1箇所当たりの材料使用量

支柱径(φ)	ラバーチップ (L)	接着剤GU2-4L (L)
60.5	0.5	0.1
114	0.8	0.16
140	1	0.2

(体積比 チップ:接着剤=5:1)

【1回当たりの目安生成量】

ポリバケツ(10L)で生成する場合は、1回当たりの生成量はチップ上限4Lまでが目安です。それ以上になりますと、混ぜにくく十分に接着剤GU2-4Lと混ざらない可能性があります。生成後は硬化が進んでいくため早めに敷設してください。



⑥ 配置

移植ゴテを用いて支柱周りに配置し、形を整えます。



⑦ 成形

配置して10分程度後に、支柱周りに隙間が出来ないように、形を整えます。※2

※2-①支柱及びアスファルトに接する部分に隙間が出来ないように成形する。
雨天時の施工は不可。施工当日は降雨の無い条件で施工すること。

②気温、湿度が高い日は成形後にラバーコートが膨張することがあります



⑧ 成形完了



⑨ 周辺清掃

周辺のチップをホウキ等で掃き取ります。

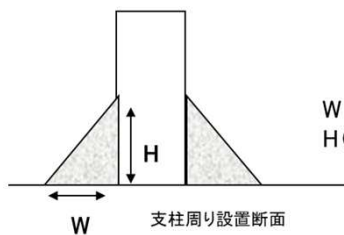


⑩ 完成

撤去の際は粉碎し、構造物にこびりついた部分はカッター等で削ぎ取ってください。

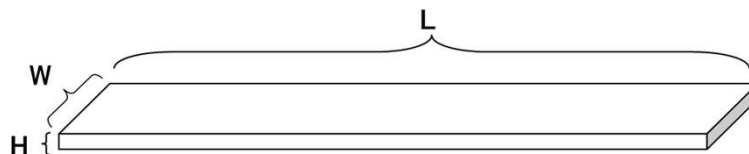
【参考】ラバーコート標準設置基準

・支柱処理の場合



W(設置幅): 支柱際より5cm以上
H(設置高さ): 支柱底面部より5cm以上

・平面部施工の場合(構造物際の連続処理)



L(設置延長): 設計時の長さによる
W(設置幅): 設計時の幅による
H(設置高さ): 2cm以上